

平成31年度学校自己評価システムシート(県立羽生実業高等学校)

目指す学校像 社会に有為な産業人を育成する

Table with 2 columns: 重点目標 (1. わかる授業、伸ばす授業の実践と進路の実現を図る, 2. 地域に貢献する開かれた学校づくりを推進する, 3. 生徒指導を徹底し生徒のマナーアップを図る)

Table with 2 columns: 達成度 (A. ほぼ達成(8割以上), B. 概ね達成(6割以上), C. 変化の兆し(4割以上), D. 不十分(4割未満))

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

Table with 3 columns: 出席者 (学校関係者 3名, 生徒 6名, 事務局(教職員) 8名)

Main evaluation table with columns: 年度目標, 現状と課題, 評価項目, 具体的方策, 方策の評価指標, 評価項目の達成状況, 達成度, 次年度への課題と改善策. Contains 3 rows of detailed evaluation data.

Table with 2 columns: 学校関係者評価 (実施日 令和2年2月3日), 学校関係者からの意見・要望・評価等. Contains feedback and comments from stakeholders.